2026 年 11 月 13 日

報道関係各位

株式会社カネカ
広報（Public Relations）部

横浜グリーンエクスポでカネカの未来技術を発信
－「つなぐ横浜館」の趣旨に賛同し横浜市と協賛契約を締結 －

株式会社カネカ（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤井 一彦）は、横浜グリーンエクスポ（2027 年国際園芸博覧会）で横浜市出展「つなぐ横浜館」（※1）の趣旨に賛同し、11 月 13 日に横浜市と協賛契約を締結しました。

「つなぐ横浜館」は、会場内の西 GX ビレッジに設けられ、「世界の明日を、みんなでひらく。Circular City YOKOHAMA」をコンセプトとする施設です。「フューチャー・ゾーン」「ライフスタイル・ゾーン」を通じて、横浜が目指す循環型の未来の暮らしとまちの姿を発信します。当社は「カガクでネガイをカナエル会社」をパーパスとし、化学の力で社会や地球環境の課題解決に取り組む「いのちの経営」を実践しています。これまでに培った技術や製品を活かし、先端技術の展示や各種イベントを通じて、同館が描く未来のまちづくりに貢献します。

「フューチャー・ゾーン」では、海洋マイクロプラスチック問題の解決に貢献するカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®（以下、Green Planet）（※2）をはじめ、タンデム型ペロブスカイト太陽電池（※3）、ゲノム編集農作物（※4）、再生細胞医療（※5）など、当社の未来技術を展示します。また、建物の外壁の一部にはソリッドタイプの建材一体型太陽電池外装システムを設置します。これらの展示を通じ、環境負荷の低減、エネルギー供給、食料の安定供給、健康の維持・向上という多様な分野で、社会課題の解決につながる当社の技術を来場者に体感していただきます。

「ライフスタイル・ゾーン」では、建物の窓面の一部に、タンデム型ペロブスカイト太陽電池とシースルータイプの建材一体型太陽電池外装システムを設置します。また、「つなぐ横浜館」の敷地内の水遊びスポットの周辺には、Green Planet 製のバイオマス由来の生分解性人工芝を設置し、横浜が目指す循環型の未来のまちを演出します。

さらに、会期中に 2 つの体験型イベントを期間限定で開催します。Green Planet を題材としたイベントでは、環境授業と工作ワークショップを通じ、プラスチックごみ問題や私たちの暮らしと地球環境のつながりについて学ぶことができます。有機循環型酪農（※6）を題材としたイベントでは、VR 体験を通じて、人・乳牛・環境に配慮した持続可能な酪農への理解を深めていただきます。

当社は、「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”.」という考えのもと、「環境・エネルギー」「食糧」「健康」分野の課題解決に取り組んでいます。今後も、新たなソリューション創出を通じ、循環型の未来の暮らし・まちづくりに貢献していきます。

以　上

（※1）横浜市出展「つなぐ横浜館」　https://yokohama-hub.city.yokohama.lg.jp/

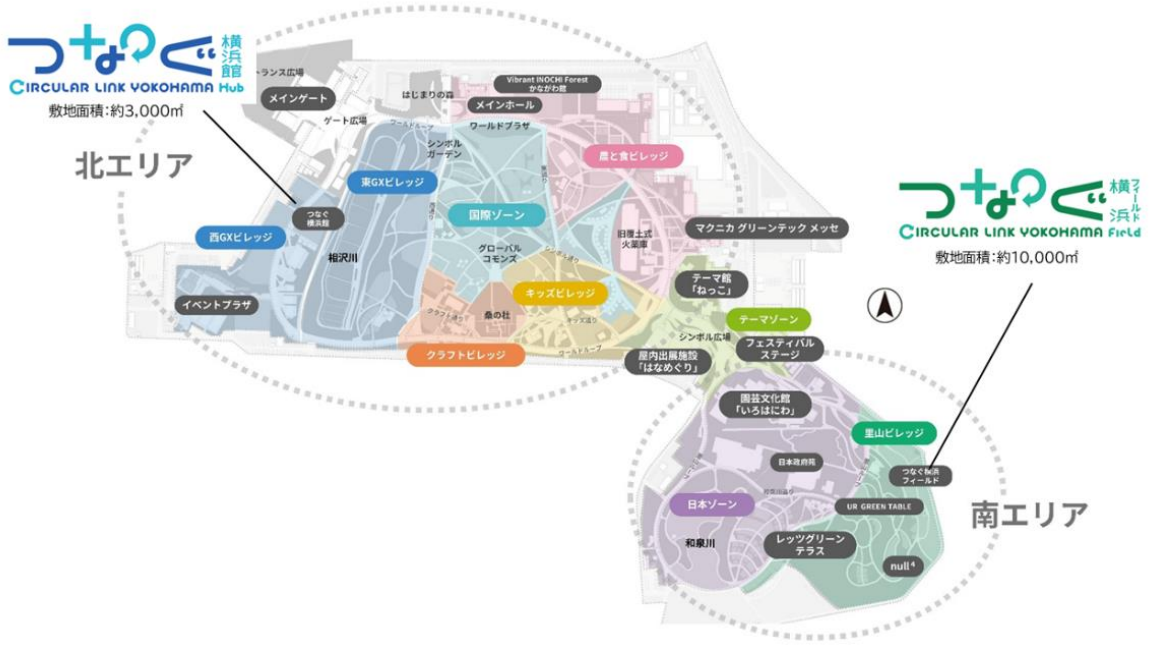
（※2）Green Planet は、石油資源に依存せず、環境にやさしいソリューションを提供したいという思いを原点に当社が開発した 100%バイオマス由来の生分解性バイオポリマーです。土壌中のみならず海水中でも容易に CO2 と水に生分解されるため、プラスチックによる海洋汚染問題の解決に貢献します。ストローやカトラリー、ショッピングバッグ、人工芝など、研究開発により用途が拡大しています。

（※3）当社が手がけるタンデム型ペロブスカイト太陽電池は、ヘテロ接合型結晶シリコン太陽電池の上にペロブスカイト太陽電池を積層し、それぞれが異なる波長の光を吸収することで、従来よりも高い変換効率と高耐久性を実現する次世代型太陽電池です。実用化に向け実証実験などを進めています。

（※4）ゲノム編集とは、農作物がもともと持つ遺伝子を高精度に改良する技術です。この技術を活用し、収穫量の向上や病気への耐性強化など、農業に役立つ特長を持つ品種の開発を進めています。

（※5）細胞が持つ能力や働きを治療に生かす医療です。胎児を包む膜の一部である羊膜から得た細胞や iPS 細胞を用い、従来は治療が難しかった病気やけがへの新たな治療法を開発しています。

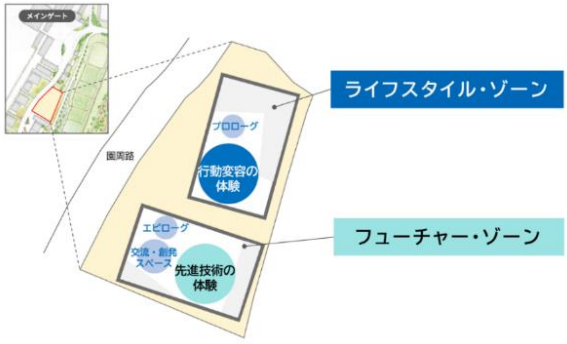
（※6）人・乳牛・環境に配慮した持続可能な酪農です。省力化や快適な飼育環境づくり、排泄物の再利用、太陽光発電の活用などに取り組んでいます。　https://www.rakunovation.com/



横浜グリーンエクスポ会場図（提供：横浜市）



「つなぐ横浜館」の外観イメージ（提供：横浜市）



「つなぐ横浜館」のゾーン構成（提供：横浜市）

株式会社カネカ
広報（Public Relations）部
東京本社 03-5574-8047　https://www.kaneka.co.jp/